

滝沢市男女共同参画計画～たきざわ輝きプラン3～（概要版）

計画期間：令和5年度～令和13年度

基本理念 「互いを尊重し、支え合い、自分らしく輝ける社会づくり」

行動目標 1 男女共同参画の理解促進	行動目標 2 仕事と生活の調和	行動目標 3 安全安心な地域づくり	行動目標 4 多様性の尊重	行動目標 5 あらゆる暴力の根絶
施策の方向				
(1) 男女共同参画に関する研修の充実、意識啓発 (2) 男女共同参画の法律・制度について学べる環境づくり	(1) ワーク・ライフ・バランス実現のための情報発信、意識啓発 (2) 多様な働き方の促進支援 (3) 多様なライフスタイルが実現できる支援	(1) 誰もが参加しやすい地域コミュニティづくり (2) 多様な意見が反映できる地域コミュニティづくり (3) 誰も孤立しないためのネットワークづくり (4) 防災における男女共同参画の推進	(1) 多様性を認め合える意識づくり (2) 自分らしさを活かした生きがいづくり	(1) 暴力根絶に向けた意識啓発、法制度の周知 (2) DVの未然防止と相談体制の強化 (3) 被害者の自立に向けた支援体制整備
行政の取り組み				
<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画に関するセミナー等の開催及び情報周知 事業所向けセミナー等イベント情報の周知 男女共同参画に関する法律・制度の周知及び啓発と活用の促進 男女共同参画サポーターの育成支援 	<ul style="list-style-type: none"> ワークライフバランス推進のための啓発活動及び情報発信 就業に関する相談及び情報提供による支援 自営業者へ向けた労働条件整備に対する啓発 農業従事者の環境整備及びやりがい支援 職場における働きやすさの推進 家庭生活における育児支援 家庭生活における介護支援 家庭生活における支え合いの推進 能力向上のための情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> 地域コミュニティ団体への活動支援及び連携 人権週間及び男女共同参画推進月間の啓発活動 意思方針決定過程における女性の参画拡大 地域ぐるみの子育て支援 地域ぐるみの見守り体制強化 防災における男女共同参画の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 多様性を認め合うための啓発活動 悩みを抱えた方への支援 高齢者の生きがい活動支援 自分の能力を活かし、地域で活躍できる機会の提供 	<ul style="list-style-type: none"> DVの正しい理解や支援に関する情報提供 お互いを尊重し大切にする思春期教育の推進 暴力の根絶についての意識啓発 ハラスメント防止のルール策定の促進 DVの未然防止と相談体制の充実 DV相談体制の周知及び体制強化 DV被害者の自立支援体制の確立
目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画サポーター認定取得者数 男女共同参画に関する講座等の事業実施回数 	<ul style="list-style-type: none"> 暮らしに満足している割合 家庭内での役割分担に満足している人の割合 家族の支えのおかげで仕事に専念できていると感じる人の割合 地域活動と自分の活動を両立できていると感じる人の割合 子育てに対する職場の理解があると感じている人の割合 両親学級の参加者数 認定農業者数（うち女性割合） 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの人とふれあいの機会があり、人間関係が良好であると感じている人の割合 地域活動に参加している人の割合 滝沢市はみんなが支え合うことで地域の課題を解決できる市だと感じている人の割合 子どもの教育について、学校、家庭、地域の連携があると感じている人の割合 子育ての悩みや不安を相談できる人がいる（いた）人の割合 地域懇談会における女性参加者割合 審議会等における女性参加者割合 地域活動（自治会）の政策方針決定過程に関わる役員に占める女性の割合 認知症サポーター養成講座の受講者数（うち男性割合） ファミリーサポートセンターの提供会員数 市内消防団員の総数（うち女性割合） 市地域防災リーダーの総数（うち女性割合） 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の個性が尊重されていると感じる割合 地域に役立つ機会を持っていると感じる人の割合 趣味の教室や講座に参加するなど、自ら学ぶ機会を持っている人の割合 身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じる人の割合 シルバー人材センター会員数（うち女性割合） 睦大学への参加者数（うち男性割合） 	<ul style="list-style-type: none"> DVを知っている人の割合 DVについて相談できる窓口を知っている人の割合（うち市役所（児童福祉課）で相談できることを知っている割合） 思春期保健講演会の実施回数
私たちにできること				
<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画を正しく理解するため、研修やセミナー等に参加しましょう。 男女共同参画の理解を広めるため、啓発活動に積極的に参加しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族みんなで協力して家事をしましょう。 職場では、男女問わず育児休暇や介護休暇を取得できるよう、意識改革や助け合いを推進しましょう。 企業は、労働関係法令の遵守や職場内における意識改革や慣行を見直しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 審議会委員等への応募など、政策・方針決定過程へ積極的に参画しましょう。 地域活動やボランティア活動へ積極的に参加しましょう。 ご近所づきあいを大切にしましょう。 地域の子どもの安全・安心のため、スクールガードやファミリーサポート等に参加しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の個性を認め合いましょう。 悩みを抱え込まず、信頼できる人や相談窓口に相談しましょう。 悩みを相談されたら、相手を否定せずに耳を傾けましょう。 生涯健康でいるため、健康診断や健康相談に積極的に参加しましょう。 興味を持った講座やサークルに参加してみましよう。 	<ul style="list-style-type: none"> DV未然防止のため、啓発活動に積極的に参加しましょう。 DV未然防止のため正しい知識を持ち、当事者にならないようにしましょう。 被害者から相談を受けたら耳を傾け、相談窓口に相談するよう促しましょう。 企業は、職場のハラスメント防止について、社内ルールの策定に努めましょう。